

平成28年度地域リハビリテーション活動支援事業報告

1 実施概要

- ① 平成28年度新規事業として取組を始め、10月から事業所による地域支援が始まった。(これまでの健康教室(庄南区)を、地域リハとして毎月第2・4火曜日支援することとし、12回実施した(のべ198名参加 事業所(あおぞらの里))
- ② 米多比の運動教室を継続させるために事業所とリハ職が支援に入り、29年5月から毎月1回事業を実施している
- ③ 単発の啓発会としての「おっとあぶない 転ばん先のおはなし会」を3月より5回実施。141名参加。
- ④ シニアクラブ連合会女性部を地域展開できるように、月1回支援をおこなった
- ⑤ リハビリの視点から、運動および音楽等地域で実施されている集いに参加しながら、情報収集およびアドバイスをおこなった

2 成果

- ① 地域の実情に合わせる働きかけをおこない、2地域で事業が始まった。
- ② 地域リハのお試しで「おはなし会」を実施したことで運動やおしゃべり等住民集いの場の情報を集めることができ、リハ職から見て必要と考えられるものが見えてきた。
- ③ 現在、古賀市が進めている体操についていけず、参加しなくなっている人がいることが把握でき、そうした人へのフォローが必要であることがわかった。

3 課題

- ① お試しの講座ではなく、地域で継続する件数を増やすことにより、本事業の目的を広げる必要がある。
- ② 運動や音楽との連携して、住民集いの場へ事業を組み込んでいく必要がある。
- ③ 連絡会を実施し、事業所の意向を踏まえ連携を図る必要がある。
- ④ 事業所から所定の報告書の提出を求める。

4 平成29年度取組概要

- ① 事業実施箇所2から5にすることを旨とする。(28年度話し込んできた地域や「おはなし会」の開催回数を増やしながら取組む)
- ② 事業立上げの調整窓口が介護予防係だけであったものに、地域包括支援センターを加え、事業の推進体制を強化する。
- ③ 事業所リハスタッフ等の参加協力を得ながら、現在の古賀市が進める体操、体力測定等のプログラムを補う、マニュアルやメニューを検討する。